

今号の紙面から

- 家具転倒防止器具の無料取付制度が充実...2
- 自転車安全講習会.....3
- ご注意を! 4~6月はカラスの繁殖期です...4
- 三鷹ネットワーク大学 春学期生募集.....5
- 対象者拡大 児童手当.....8
- 第三期三鷹市介護保険事業計画が確定.....9
- 骨粗しょう症健診.....10
- 初心者歓迎! 児童館クラブ.....11

普段の遊び場

仲間づくり

子育て相談

いつでもお気軽にご利用ください

市内3カ所目の親子ひろばが大沢台保育園にオープン

4月1日に開園した市立大沢台保育園の中に、子ども家庭支援センターすくすくひろば、のびのびひろばに続く3カ所目の「親子ひろば」がオープンしました。

西部地区のこの新しい親子ひろばは、0歳～就学前のお子さんご家族の方、これからお母さんになる妊娠中の方などが、普段の遊び場として、仲間づくりや子育て相談の場として、いつでも気軽に立ち寄れるスペースです。なお、東部地区の私立みたかつくしんぼ保育園でも5月中旬以降、親子ひろばがオープンする予定です。

多くのみなさんのひろばのご利用をお待ちしています。

⇒大沢台保育園 ☎39 3177



大沢台保育園親子ひろば「ハミング」

利用時間 月～土曜日午前10時～午後4時30分(日曜日、祝日、年末年始休み)

サービス内容

好きな時間に来て、部屋や園庭で自由に遊べるほか、楽しいプログラムや子育て相談・情報提供も行います。

手遊びや絵本の読み聞かせ

毎日午前11時・午後3時から30分程度。直接ひろばへ。

子育てに関する相談・情報提供(随時)

どんなことでもお気軽にスタッフに声をかけてください。保育園職員もお話を伺います。

お昼ごはんやおやつを食べられるスペース
ミルクのお湯やお茶、カップなどもご用意しています。

親子参加行事・子育て応援企画など
5月以降、月1回程度実施予定。

利用方法

利用時間内に直接お越しください(初回利用時に登録用紙に記入)。

市立大沢台保育園

廃園した大沢台幼稚園を改修し、4月1日に開園した市内で4番目の公設民営保育園(運営は㈱ベネッセスタイルケア)。0～3歳、定員40人。



所在地 大沢2 2 52
駐車場はありますが台数に限りがあるため、できるだけほかの交通手段をご利用ください。

第21回 市長と語り合う会

「中学1年生の保護者として考えること」
参加者を募集します
対象は中学1年生の保護者の方。公立・私立を問いません。
5月29日(月)午前9時30分～11時、市役所3階第3委員会室で「合つ会参加希望」・氏名(ふりがな)・住所・電話番号・年齢・性別・語り合いたい内容を記入し「〒181 8555 三鷹市役所秘書広報課秘書係」・Eメール「no@city.mitaka.tokyo.jp」へ、がきまたはEメールで申し込む。定員10人(申込多数の場合は抽選)。
傍聴を希望する方は「市長と語り合う会傍聴希望」・を記入し、同様に申し込む。傍聴の定員5人(申込多数の場合は抽選)。
↓秘書係 ☎内線2010

このほかの市内の親子ひろば

子ども家庭支援センターのびのびひろば(下連雀3 30 12 ☎40 5925) = 火～土曜日(祝日を除く)の午前10時～午後4時30分
子ども家庭支援センターすくすくひろば(下連雀4 19 6 ☎45 7710) = 月～土曜日(祝日を除く)の午前10時～午後4時30分
私立みたかつくしんぼ保育園(中原1 29 35 ☎03 3308 3507) = 5月中旬以降オープン予定。くわしくは、後日「広報みたか」や市のホームページでお知らせします。
⇒子育て支援室 ☎内線2672

市長コラム

三鷹市長 清原慶子



「にしみたか学園」開園式にて

4月5日、第二中学校体育館で三鷹市立小・中一貫教育校「にしみたか学園」開園式が行われました。第二中学校、井口小学校、第二中学校をモデル校とする9年間の一貫カリキュラムによる確かな学力と豊かな人間性の向上をめざした公立学校の教育が発表されました。
制度上、市長は公立小・中学校の設置者であり、施設設備等の予算提案と実施に関する責任と権限を持っていますが、教育内容については教育委員会にその責任と権限があります。
2004年2月に同体育館で開催された小・中一貫教育に関する最初の説明会には、私も設置者として出席しました。会場には、保護者、地域の皆さん約500人が参加され、教育改革への期待と不安の両方を熱く感じました。
その後、教育委員会では、市民の皆さんとの意見交換会を重ね、昨年度は公募委員を含む多数の市民の皆さんと教職員による開設準備検討委員会「実施方針」がまとめられました。
開園式典では、二つの小学校の6年生代表が、中学生との学習やクラブ活動での交流への期待を明るく話し、中学3年生代表は学園生活でのリーダーシップをとる自覚を表明してくれました。
地域の皆さんが運営に関わる三鷹型のコミュニティスクールを基礎として進められる小・中一貫教育の取り組みが、全市的な取り組みとなるよう望んでいます。